

# 選挙公報

**藤田大樹のプロフィール** (1949年7月生まれ)

最終職歴... 神奈川県立新城高校、日本電子工学院卒

経験業務... 旅行関連会社役員(2005年7月退任)

経歴... 総務、経理、財務、保険、流通、旅行イベント、旅行DIY調査、旅行専門学校業務など

趣味... 釣り、専門料理、将棋、読書

地域活動... 西小磯東区前区長、大磯町災害救援ボランティアの会役員、西小磯東区安全安心パトロールの会顧問、白岩神社清掃の会代表、西小磯東区・地域交通推進の会会員

**皆様の声を町政に**  
福祉・教育などの充実とおしゃれで魅力的な町づくり

**財源の確保** 医療・福祉・教育などの充実に不可欠なふるさと納税の促進、企業誘致、遊休町有地の有効利用町内の起業家への支援など

**町の活性化** おしゃれで魅力的な町づくり  
観光の推進、町内美観の向上、大磯ブランドのイメージアップ、オリジナル商品の開発、地引網など地域産業の振興、マコモダケなど農水産物の販促強化など

**防災・減災** 安全・安心の確保  
町民の防災力の強化、自主防災組織の充実と連合化の促進、要支援者対策の促進、災害時のペット対策など

その他、イノシシ対策や空き家対策などにも取り組めます。

### 町内活動実績

大磯町社会福祉協議会評議員、大磯町地域公共交通会議委員  
大磯中学校避難所運営委員会委員長、西小磯東区町内会区長



無所属 (ふじまがり おおき)  
**藤田大樹**  
六十五歳

## くらし・福祉を守り平和な大磯町へ

### 税金のムダづかいやめさせて

- 国保税の減免 値上げストップ
- 子どもの医療費は、所得制限をなくし、中学卒業まで無料に
- 介護サービスの充実、保険料・利用料の負担軽減を
- 津波対策・防犯の強化を国・県の負担で
- 大磯駅ホーム平塚方面の屋根延長を
- 交通不便地域の解消

消費増税、年金引き下げ、介護や医療の負担増など安倍自公政権の政治にたいし、みなさんにお願ひした町民アンケートには「生活が苦しくなった」という声が7割を占めています。私は、国の悪政から町民のくらし・福祉・教育を守るためにがんばります。

議会を送り出したいただき4期16年、私は要求があるところに足を運び、調査し、みなさんの声を議会に届けてきました。子どもの医療費助成の拡充、大磯駅バリアフリー化など願い実現にがんばってきました。ひきつづき、町議会でお働きさせていただきます。

プロフィール=1954年生まれ。大磯幼・小・中卒業。文化学院(お茶の水)高等部美術科卒。パンクパー市立美術学校(現エミリー・カー美術学校)2年課程修了。PTA、新日本婦人の会、民主商工会などで活動。家族:104歳の義母を夫と介護。



日本共産党  
**鈴木京子**

### 大磯生まれ、大磯育ち、そして ここ大磯で暮らしているからこそ

## 「日本一住みたい街、大磯」実現のために

せいた文雄の提言

### 安心、安全の街づくり

- 防災防犯対策**  
町民目線に立った安心安全の確保
- 教育環境**  
次世代をになう元気な大磯っ子が育つ環境整備の実現
- 福祉対策**  
後期高齢者社会に向けて、福祉の充実・声かけの推奨
- 生活に密着したインフラ整備**  
道路や公共施設の利便性ある整備
- 財源確保**  
財源確保のための環境整備

1948年8月26日大磯町国府新生まれ。現在、国府新に暮らす。大磯町立国府幼稚園、国府小、国府中、県立大磯高校、東京写真大学(現東京工芸大学)卒。元国府新副区長、国府新自主防災会副会長、大磯災害ボランティア会員、元民生委員・児童委員



無所属  
**せいた文雄**  
ふみお

## これからの4年間に向けて

まだまだ働く56歳!  
大磯町議会議員候補

大磯町の現在の人口は32,413人で、2010年の33,032人を境に減少傾向に転じており、東京から60km圏域に位置するとはいえ、全国的規模で進む人口減少の影響が出始めています。

また、65歳以上の高齢者は現在31.2%と、全国や神奈川県全体の平均よりも高い割合で、平成42年には35%を超える推計結果も出ています。

このような状況を克服するには、定住人口の安定化を図る新たな観光の核づくり事業や、定住促進に向けた地域再生事業など、国や県と連動した地方再生の総合戦略を進めて行く必要があります。

自分が生まれ育ち、住んでいるこの町が、日本創生会議が発表した消滅自治体のひとつに加わることなく、この先も有り続けて行くために、町民力を最大限に活かしたまちづくりを進めて行きます。



**高橋ひでとし**

## 日本一住んでみたい 大磯の創生

未来の大磯に繋ぐ「子育て」「教育」「定住促進」を核に相乗効果を産み出す行政戦略で、点から面へ、面から立体へ、すべての政策がリンクされる。スマート・デザイン・おおいそ構想、「日本一住んでみたい 大磯の創生」をお約束します。

### 坂田よう子が考える 未来への責任

- 未来への責任 子育て支援**  
大磯に住むすべての子どもたちを大切に育てるまちづくり  
●各家庭の希望にかなった子育て環境を実現  
●子どもの命と健康を守るまちづくりを実現  
●町全体で子どもを大切にする社会の維持
- 未来への責任 教育の充実**  
大磯に住みたい、教育で選ばれるまちづくり  
●教育環境を整え、質の高い教育を実現  
●一人ひとりが尊重される教育を実現  
●未来への挑戦ができる教育を発信
- 未来への責任 定住促進**  
すべての行政戦略が若い世代の定住促進に繋がるまちづくり  
●ひとが人を呼ぶまちづくりを実現  
●町の魅力が人を引きつける機会の実現  
●大磯ウェルカム・ウェルネスの発信

●坂田よう子のプロフィール●  
昭和39年8月10日大磯に生まれる  
山王幼稚園、大磯小学校、大磯中学校、県立小田原城内高校、早稲田大学卒業  
元衆議院議員秘書、町議会議員(現4期)夫、長男の3人家族



無所属  
**坂田よう子**  
五十歳

## だれもが自分らしく暮らせる町をめざし できることから1歩ずつ やわらか頭で未来を変えよう!

**プロフィール**  
1959年(五黄の亥)大磯に生まれる  
大磯小学校卒業  
大磯中学校卒業  
平塚江南高校卒業  
東京芸術大学 美術学部卒業  
大阪・辻あべの調理師専門学校卒業  
2004年 スタジオヘジック 営業開始  
夫、次男、三男、両親と同居

**『個』を尊重の自立支援**  
社会の中で隔離も孤立もせず、より自分の力で暮らせるために、高齢者、障害者、子育て、青少年をサポート

**五感を育て生きる力を育む教育**  
視・聴・嗅・味・触の五つの感覚を育て、命を保護力(食育・健康・心のメンテナンス)を豊かにする力(芸術・自然に親しむ)、人や動物、自然とかわる力を育てます。体験型の学習を幼児からスタート

**公共施設の有効活用**  
地域の活性化、防犯、防災に強い地域づくりのための、多世代交流の場としての有効活用を促進

**見栄を張らない財政**  
町の財政運営は、現在と未来の町民のより良い暮らしを最優先。身の丈にあった観光事業はおもてなしの心とアイデア!



たまむししほみ  
**玉虫志保実**

## 恒道会の正常な法人運営を!!

**プロフィール**

- 1944年大磯町国府本郷生まれ。
- 小田原高校・中央大学卒業後法律事務所勤務、学研勤務 その後、吉川教育センター設立。
- 国府小学校・国府中学校・県立高校PTA会長を歴任。
- 柔道・剣道を通じ少年育成ボランティア活動。
- 湘南マラソン副実行委員長、大磯町副町長として町政に尽力。

現在、議員3期目。(議会運営委員長)

**約束**  
◆恒道会の正常な法人運営を  
◆荒廃農地解消に向け実践的提案を  
◆国・県が見直した津波浸水対策の再整備を

これからの社会は、子供が減少し、高齢者が多くなる中で、町の財源は減少していきます。今後、町財政力アップ政策は重要な行政としての課題の一つです。

議員の役割は、行政をしっかりとチェックしていくことが大切な役割と考えています。



よしかわ  
**吉川しげお**



# 選挙公報

## もう一度福祉

「全力」を注ぎます。

結果をだしました。

子どもたちが元気に育つ大磯町に！

子育て支援センターの機能、学童保育の充実など、子どもたちの放課後の快適な居場所づくりや、小児医療費助成対象を中学生までに拡大を図る事、病後児保育の推進と中学校の自校方式給食などに全力を注ぎます。

相談相談のシステムづくりを！

児童虐待防止の取組や、引きこもり、いじめを防ぐ「いじめ防止基本方針」により、安心して暮らせる町づくりに全力を注ぎます。

お年寄りの安心を作り出す！

お年寄りが気軽に歩いて行ける地域に空き家などを利用したサロンドづくりや、高齢者の暮らしを支える、生きがいづくりの場を提案します。認知症の早期発見と相談、介護者家族支援の仕組みを推進、未病対策などに全力を注ぎます。

竹内恵美子プロフィール

- 1949年 大磯町生まれ、国府小、国府中学校卒業、97年北嶺高等学校卒業
- 1967年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1970年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1971年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1972年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1973年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1974年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1975年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1976年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1977年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1978年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1979年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1980年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1981年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1982年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1983年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1984年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1985年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1986年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1987年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1988年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1989年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1990年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1991年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1992年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1993年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1994年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1995年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1996年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1997年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1998年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 1999年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2000年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2001年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2002年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2003年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2004年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2005年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2006年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2007年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2008年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2009年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2010年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2011年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2012年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2013年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2014年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2015年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2016年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2017年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2018年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2019年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2020年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2021年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2022年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2023年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2024年 大磯町立大磯高等学校卒業
- 2025年 大磯町立大磯高等学校卒業



町民派 無所属

**竹内恵美子**

私たちの愛する町大磯、子どもや孫たちに誇れる町大磯、明るい未来を約束できる町大磯、今日から「もう一度福祉」を合い言葉に、いろいろな活動に「全力」を注ぎます。

町民とのパイプ役として引き続き議会をおくりだして下さい。

## 地方創生!「住みたいまちNo.1大磯」へ!

実現しました!

めざします!

- 安心安全のまちづくり
  - 大磯町防災会議に初女性委員の登用
  - 救急時に伝えない情報を入力できる「あんしんカード」配布
  - 幼稚園・小・中学校の耐震化
- 福祉の向上
  - 耳の不自由な人と意思疎通が図れる「コミュニケーションボード」設置/介護マークの配布
  - 1日で5種類のがん検診ができる「5がンスペシャルDAY」実施
- 子育て環境の整備
  - 小児医療費助成を未就学から小学校卒業に拡大
  - 小・中学校に学校図書館司書を配置
  - 町立保育園、幼稚園等にミストシャワー設置
  - イクメン講座の開催
- 災害時要援護者の支援体制の強化
  - 未病対策の推進
  - 病児・病後児保育の開始
  - 女性の働きやすい環境を整備
  - 小児医療助成を中学卒業までに拡大
  - 小学校入学時セカンドブックスタートの推進
  - 未利用町有財産の有効活用

あなたのために、動き、働く!



### 二宮かずこ プロフィール

1960年 東京生まれ PTA会長時いじめ問題に取り組む。  
 1981年 東京女子体育短期大学 2000年より「読み聞かせボランティア」  
 児童教育学科卒業 児童教育学科卒業 2001年より「骨太体操ボランティア」を継続。  
 2011年 大磯町議会議員選挙初当選



二宮かずこ

公明党公認

次世代への責任  
いのちを大切に作る社会へ

町民生活優先の財政運営がされるようにチェック機能としての責任を果たします。

いゆたかの子供に育つ保育を進めます。病児保育や待機児童対策を進め、働くお母さん、お父さんを応援します。3万人の小さな町だからこその、質の高い教育の町を目指します。食べ物の地産地消で心身ともに健康な子どもを育てます。

議会が手掛けた「大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例」の理念を実現していくために、自然と共生する環境政策を進めます。

在宅介護の充実と、特別養護老人ホームの健全な運営に取り組みます。バス路線が無い場所への交通手段の確保に取り組みます。

人口減少時代に合わせた災害対策を進めます。建て替えや補修の時期を迎えた橋や道路、下水道、公共施設、公園などの既存施設の有効活用、統廃合や再配置を進めます。

暮らしの安全

高齢者

環境

子ども

財政

私の経歴

◎プロフィール

- 1964年 函嶺白百合学園高校卒業
- 1967年 東京歯科大学歯科衛生学校卒業
- 2003年 1期目当選
- 2007年 2期目当選
- 2011年 3期目当選
- 2011年 議長就任
- 2013年 総務建設常任委員会委員長就任

◎資格

- 歯科衛生士
- ホームヘルパー2級

◎その他の活動

- 一般社団法人「大磯エネシフト」理事
- 「福島の子どもたちと共に西湘の会」会員



無所属

**渡辺順子**

## ささえあい わかちあう

ずっと戦ってきた「清水ひろ子」 まち街づくり

だからできます 防災 子育て 福祉 環境

- まちづくりを実現する4つの柱
- 1. 二宮問題の解決と景観保全
    - 大磯らしい歴史の景観と豊かな自然環境を守ります。
    - ごみの減量化と資源化を進めます。
  - 2. 住民参加の居場所づくり
    - 高齢化に对应する医療体制の整備と高齢者子育て世代をつなぐ居場所づくりを目指します。
  - 3. 保育の充実と遊べる森の実現
    - 子どもたちがのびのび遊べる森を作り、保育の充実と安心して子育てができる環境を整えます。
  - 4. 自主防災と災害対策
    - 大規模地震や異常気象などに即座に対応できる体制づくりを自主防災の強化に努めます。
- プロフィール
- 1947年 山口県に生まれる
- 日本大学農獣医学部 造園・都市計画専攻
- 1991年より大磯町議会議員
- 2003年 大磯町議会議員



無所属(67歳)

**清水ひろ子**

町民の 目線・命・生活 を大事にする町づくり 「子育てで選ばれる町 大磯」を目指して

- 子育て、教育の充実
  - 町立幼稚園の3園体制を堅持
  - 「教育の町 大磯」を取り戻し、教育の質を高める
  - 幼稚園・保育園の保育料の軽減
  - いじめや虐待のない町づくり
  - 町で運営する無料の学習塾
  - 安心して産み育てられる環境づくり
- 子ども、障がい児・者、高齢者の安全と生活を守る
  - 生活的弱者の目線に添った支援
  - 婚姻の有無に関わらずひとり親家庭の支援強化
  - 子どもから高齢者まで安心して暮らせる町づくり
  - 恒常運営の安定と改善
- 地域の人々とのつながりを大事にする
  - 支えあい、助け合うシステムと場づくり
  - 町民スポーツや文化活動への支援
- 農業、漁業、商業の振興
  - 農業、漁業への支援強化と6次産業の振興支援
  - 後継者の育成支援
  - 若い定住者への住宅支援
- 災害に強い町づくり
  - 巨大地震、津波への防災計画と行政、地域住民の連携強化
  - 幼・保・小・中学校の更なる防災教育の強化
  - 各避難所の避難環境の整備、充実

子ども達の笑顔が輝く町に!

プロフィール

昭和22年 大磯町南下に生まれる

昭和29年 大磯幼稚園から大磯小・中学校を卒業

昭和40年 県立平塚江南高等学校卒業 旧三菱銀行入社

昭和48年 大磯町教育委員会に採用

平成5年 小磯幼稚園教頭

平成8年 国府幼稚園教頭

平成10年 大磯・小磯幼稚園長

平成17年 国府・月京幼稚園長

平成19年 定年による退職

平成23年 町議会議員選挙初当選、総務建設常任委員会委員長

福祉文教常任委員会委員長、議会次長より編集副委員長



無所属

**高橋ふみ子**

## 活力と魅力ある 素敵な街づくり

- ごあいさつ
- この大磯町で誰もが安心安全に花とみどりの環境の中で、豊かに暮らせることができる活力と魅力ある素敵な大磯町をつくる熱意から政治の世界を目指す決意をしました。
- 神奈川県県土整備部での県土づくりや防災業務経験と復興庁宮城復興局での東日本大震災復興支援業務経験を活かすと共に県・町のパイプ役に務め、皆様のお役に立てる地域の政策活動に一生懸命汗を流し、全力を挙げて取り組んでまいります。
- ① 災害時に対応した「防災公共」の強化
    - 災害時に人命を守ることを最優先に「逃げるための」避難経路対策等の発想と「孤立エリアをつくらない」ための危険個所対策を重視した、防災対策と危機管理体制の強化等ハード・ソフトを一体とした「防災公共」に取り組みます。
  - ② 高齢者の健康増進と活力ある街づくり
    - 「地域包括ケアシステム」構築に、花とみどりの育成管理を行う高齢者のボランティアや就業活動を組み入れ、健康増進と活力ある街づくりに取り組みます。
  - ③ 花とみどりで活力と魅力ある素敵な街づくり
    - オープンガーデン等、花とみどりあふれる素敵な街づくりを推進します。
    - 保育園、幼稚園の園庭の芝生化を目指します。
    - 庭園文化等を活かした観光施設づくりやガーデン等による観光地化に取り組みます。
    - 周辺市町村の観光施設との連携と広報強化に取り組みます。
  - ④ インフラ施設の延命策と計画的整備の推進
    - 老朽化する道路、橋りょう等「アセットマネジメント」に基づく事業管理計画を構築し、インフラ施設の延命策を進めます。
    - 限られた財源の中で、国の交付金等の活用を進め、計画的にインフラ施設整備に取り組みます。
    - インフラ施設を管理する町以外の関係機関への要望活動に取り組みます。
- プロフィール
- 1947年 1月1日生まれ、68歳
- 1965年 4月 神奈川県庁に入庁、働きながら1968年3月日本大学短期大学部建築学科卒業
- 2007年 3月 神奈川県県土整備部で42年間県土づくりと防災業務に携わり定年退職
- 2007年 4月 神奈川県道建設局で道路管理や「ミニ道の駅」の政策実施
- 2010年 4月 県立東野川公園園長職で公園にチャレンジするの大規模ガーデンによる観光地化を推進
- 2014年 4月 復興庁宮城復興局に入庁、石巻市役所で1年間インフラ施設の復興支援業務に携わる
- 「おおいそオープンガーデンホーム運営委員会」会長
- 大磯町石神在住



無所属

**ながしま すすむ**

六十八歳

★ 大磯をもっと輝かせるために! ★

片野てつおの4つの政策

★ 未来が見える産業都市のカタチ

町の将来や私たちの子や孫の未来のために、地域に活力を創生する拠点づくりと、大磯らしい産業のカタチを提案します。

★ 子育て支援、英会話の充実

子育てしやすい環境整備に取り組み、グローバルに通用する人材育成のため、幼児期からの英会話教育を提案します。

★ 災害に備えて、安心な町に

災害時の避難経路の徹底や、避難路を確保する道路計画など、安心・安全を守るためのライフラインの整備に取り組みます。

★ 恵まれた自然に人の力をプラス

緑に囲まれた大磯を次世代までしっかりと残し、自然と共生していくために、人の力による手入れや鳥獣被害の対策等にもしっかりと取り組みます。

継続! キラッと大磯

大磯町をもっと輝かせたいから。皆様のお力でこの4年間議員活動をさせていただきます。活動の中で見えてきたのは、慢性的に悪化し続ける財政事情です。主要産業の流出や少子高齢化はますます加速し、町の税収は減少の一途です。一方、医療、福祉、教育、そして安全安心のための公的コストは将来にわたり増え続けることは確実です。あなたと共に大磯をキラッと輝かせるために、ぜひあなたの力をお貸しください。

片野てつお



無所属

**片野てつお**

## あなたの声を大切にします

- 3期12年・実現しました!
- 町行政として日本初の事業仕分けの実施
  - イノシシなどの有害鳥獣対策
  - 町立中学校に聴講生制度の導入
  - 大磯駅前スーパー防犯灯設置
  - コミュニティバスの運行ルートの拡大
  - 救急救命キットを75歳以上の方に配布
  - 女性特有のがん検診の推進
  - ヒト細胞白血病ウイルス型の母子感染対策実施
  - 大磯町役場の日曜臨時窓口の開設
  - 3月末~4月初旬まで転入転出の手続きが可能に
  - 期日前投票の誓約書をホームページから印刷可能に
  - 町税コンビニ収納(軽自動車税等)の推進
  - 不育症への助成
  - 不育症の医療をしているご夫婦に対して、治療費の一部助成を実現
- めざします!
- ★災害時、要援護者の支援体制強化
  - ★小児医療費助成を中学校卒業まで拡大
  - ★小学校入学時のセカンドブックスタートの推進
  - ★未利用町有財産の有効活用(空地、空き家など)
- おくとつ勝子 プロフィール
- 1944年 大磯生まれ 2003年 大磯町議初当選(現3期)
- 1962年 大磯高校卒業 2013年 第34代大磯町議会議長
- 2006年 創価大学教育学部卒業



公明党公認

**おくとつ 勝子**



平成27年6月28日  
執行

# 選挙公報

大磯町選挙管理委員会

## 明日の大磯へつなぐ

まちづくりの主体はこの町に住む人たちです。  
三沢たつおは、「空き家対策」、「次世代の定住対策」、「防災・減災対策」を中心に、  
経験をもとに、住民の皆様生活を第一に考えた活動をしてまいります。



三沢  
たつお  
(62歳)

### 三沢たつおの政策

#### まちのこし

今ある形を残しながら未来を考えていく…

- ・海と山。この二つの自然からの恵みを大切に、環境問題に取り組みます。
- ・先人たちの残した景観を守るため、文化資源の保存・活用を進めます。
- ・空き家を活用して移住の促進に取り組みます。

#### 次世代の定住対策

明日の大磯へつなぐ…

- ・移住した方が、定住するために、子育てや教育での支援を進めます。
- ・町内で起業する人のため、コミュニティビジネスの支援体制を整えます。

#### 防災・減災対策

安心して住み続けるために…

- ・防災計画の見直しや、ハザードマップの見直しを進めます。
- ・大切な家族の一員であるペットの同伴避難対策に取り組みます。
- ・災害時、地域で助けあうための防災組織の育成・訓練の実施に取り組みます。

#### 略歴

昭和52年 東京芸術大学卒業  
平成3年 大磯町議会議員初当選  
平成14年 大磯町町長就任  
平成19年 大磯町議会議員

町民本位 は、絶対ゆずれない！  
本当に住みよい大磯町をつくるために、  
全力を注いで、がんばります。



しば  
たきまさ  
しげる

この4年間の議会は、「町民本位」といえるだろうか？

- 借金を16億円増やし170億円に。
- 介護保険料の基準額が県内町村でトップに。
- 自転車1台駐輪に31万円もかけて駐輪場整備。
- 津波が懸念されているのに海岸近くに保育園「サンキッズ大磯」をそのまま立替え。

駐輪場の用地を有効利用すれば、駅前に保育園と駐輪場が完備した「子育てしやすい町」  
になったはず。

議員は一般質問さえせず、もちろん反対など誰もしていない。

#### 経歴

昭和32年 大磯町長者町生まれ 58歳 B型 ふたご座  
昭和55年 学習院大学経済学部経営学科卒業、証券会社勤務を経て  
平成11年 7月 大磯町議会議員当選 3期11年  
平成22年12月 大磯町長選に出馬



検索

### ワークシェアによって大磯町 若い世代の魅力ある町づくり

大磯町には女性(30~45歳)の勤め先がない！  
よって年間23億円の給与を支払っている役場を  
シェアすれば！

現在	→ 850万円/年 × 270人	23億円
20年後	→ 800万円/年 × 50人 (管理職(町長他)×30人 専門職(消防)×20人)	4億円
	250万円/年 × 300人 (女性(30~45歳)週4日、年間200日) (男性(60~75歳)週4日、年間200日)	7.5億円
		合計 11.5億円

### 大磯町の収入と支出を見張ります！

- 【収入について】
- ・大磯町には法人税収入(1億円/年)しかありません！
  - ・大口の固定資産税収入が見当たりません。
- 【支出について】
- ・駅前駐輪場に20億円(20年間)無駄遣い。
  - ・運動公園に60億円(完)
  - ・大磯小学校校舎建築に50億円(差し止め)

### 地元、建設、土木、商工業者の育成！

(町内の業者に優先して発注する)  
平時 → 消防団活動等。  
災害時 → 重機、人材の供出。

### 砂利港の転換！

- ・50年間1円も入金なし！百害あって一利なし。
- ・大磯郵便局前の横断歩道を復活しましょう！
- ・大磯町の観光の核にしましょう！

### 二宮町、平塚市と行政合併！

- ・二宮ラヂアン、大磯城山、運動公園、大磯港の活用！
- ・平塚総合公園の活用！人材交流！
- ・消防救急活動の統合化！(現在5億円が2億円に減額)

#### プロフィール

10代 大磯中学校卒業、平塚江南高校卒業  
20代 明治大学文学部卒業、神奈川駅伝中郡代表  
30代 町商工会青年部部長、町観光協会理事  
40代 大磯小学校、中学校PTA 正副会長  
中郡PTA連絡協議会会長  
50代 町消防団第11団分団長、町商工会理事  
平塚法人大磯支部長、左義長保存会会長  
60代 平塚法人会監事



無所属  
飯田  
修司

# 投票日

# 6月28日(日)

# 午前7時から午後8時まで

## インターネット速報サービス

投票時の投票率や開票時の開票率、得票数をホームページでお知らせします。

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/>